

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p>＜研究課題名＞</p> <p>高齢急性心筋梗塞患者における薬剤溶出性ステント治療の効果の検討</p>
<p>＜研究機関・研究責任者名＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者)北野 大輔</p>
<p>＜研究期間＞</p> <p>承認日 ～ 西暦 2019年3月31日</p>
<p>＜研究の目的と意義＞</p> <p>高齢者の方々に急性心筋梗塞を発症される方々が年々増えております。急性心筋梗塞の標準治療として薬剤溶出性ステントを用いた緊急手術を行っておりますが、高齢者の方々を対象とした急性心筋梗塞の治療効果に関するデータはありません。本研究の目的は薬剤溶出性ステントの種類にかかわらず高齢者においても安全に急性心筋梗塞の治療が行えたのかをカルテ情報を遡って検証することにあります。本研究により、今後安心して急性心筋梗塞の治療が受けられることが期待されます。</p> <p>上記を検証するために、患者様のカルテ情報や検査データを収集いたします。</p>
<p>＜利用する試料・情報の項目＞</p> <p>血液検査、心電図検査、心エコー図検査、心臓カテーテル検査の情報、診療記録等の情報を電子カルテより収集いたします。</p>
<p>＜対象となる患者さん＞</p> <p>2012年1月1日～2016年12月31日の期間に当院循環器内科で急性心筋梗塞と診断され、ステント治療を受けた患者様。</p>
<p>＜研究の方法＞</p> <p>上記期間内に急性心筋梗塞と診断され、緊急手術として冠動脈に薬剤を塗ったステントを留置された患者様について、治療後1年間の血液検査、冠動脈造影検査、生理機能検査などの診療情報を収集し、心事故の発生の有無等の治療効果に関して統計解析を行います。それらが、高齢者とそうでない方々との間に差があるか等を検討します。</p> <p>なお、本研究では、必要な情報のみを統計資料として集計します。患者さんのお名前や個人情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。</p> <p>本研究の対象となられる患者様で本研究にご賛同いただけない方は、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。</p>
<p>＜お問い合わせ窓口＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)</p> <p>循環器内科 氏名:北野 大輔</p> <p>電話:03-3972-8111 内線:(医局)2412 (PHS)8699</p>